

1 試験研究成果

区分	農産部門	園芸畑作部門	総合部門	畜産部門	計
普及	6	14	4	8	32
指導	10	10	12	6	38
行政	4	0	3	1	8
研究	13	6	5	5	29
計	33	30	24	20	107

普及（普及に移しうる成果）

農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果。

指導（技術指導に参考となる成果）

普及員等指導者の技術指導上の参考として適当と認められる成果。

行政（行政施策等に反映すべき成果）

行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの。

研究（技術開発に有効な成果）

新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの。

(1) 普及に移しうる成果

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
農 産 部 門	1	農業用無人ヘリコプター利用による水稲用フロアブル除草剤の散布技術	水田作 生産工学	
	2	岩手県における水稲プール育苗技術	生産工学 水田作 銘柄米開発 病害虫 やませ利用	
	3	平成10年度雑草防除基準に採用した水稲除草剤	銘柄米開発 水田作	
	4	平成10年度成長調整剤使用基準に採用した水稲倒伏軽減剤	銘柄米開発	
	5	水稲オリジナル品種「かけはし」を用いた県北地域における稚苗移植栽培	やませ利用	
	6	水稲品種「ユメコガネ」の生育・栄養診断基準と栽培法	やませ利用 営農技術	

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
園 芸 畑 作 部 門	7	品種 ぶどう「ハニーブラック」	果樹	
	8	植物生育調節剤 [®] クロフトゾ [®] -ル水和剤によるおうとうの新梢伸長抑制効果	果樹	
	9	りんご園の早期成園化のためのポット養成苗利用による大苗移植栽培法	果樹	
	10	ハウスきゅうりの遅出し作型における不耕起栽培法	野菜畑作	
	11	ハウスピーマンの規模拡大に対応した半放任型2本仕立法	野菜畑作	
	12	品種 切り花用りんどう「ポラーノブルー」	花き	
	13	品種 鉢物用りんどう「あおこりん」	花き	
	14	品種 鉢物用りんどう「ももこりん」	花き	
	15	プレテイング [®] 処理による刈入れ系ゆりの品質向上技術（追補） ---処理温度、処理期間---	花き	
	16	短日処理による促成いちごの前進作型	南部園芸	
	17	短日処理による10月出シトルコギキョウの品質向上技術	南部園芸	
	18	品種 スイートコーン「キャンベラ90」	産地育成	
	19	品種 レタス「サマーランド」	産地育成	
20	アワ、ヒエ、キビの優良系統の選定	やませ利用		
総 合 部 門	21	平成10年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤	病害虫	
	22	アブラムシ忌避資材によるリンドウモザイク病の防除技術	病害虫	
	23	りんどうの出荷調整のための短期貯蔵法	保鮮流通技術	
	24	MA包装段ボール箱によるさやえんどうの鮮度保持法	保鮮流通技術	
畜 産 部	25	豚の投薬早期隔離離乳による清浄化技術	家畜育種	
	26	仕上げ飼料(抗生剤無添加)による南部かしわの肥育	家畜育種	
	27	ロックウール脱臭装置による家畜糞尿悪臭防除技術	飼料生産	
	28	おが屑脱臭装置による家畜糞尿悪臭防除技術	飼料生産	
	29	品種 アカクローバ「マキミドリ」	飼料生産	

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
門	30	品種 リードカナリーグラス「ベンチャー」「パラトン」	飼料生産	
	31	品種 飼料用とうもろこし「ナスホマレ」	飼料生産	
	32	平成10年度雑草防除基準に採用した飼料用とうもろこし用除草剤「ジメテナミド乳剤」	飼料生産	

(2) 技術指導に参考となる成果

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
農 産 部 門	1	平成9年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	水田作 銘柄米開発 土壌作物栄養 病害虫 やませ利用	
	2	指導資料「いわて純情米品質・食味向上の手引き」	水田作 水稲育種 生産工学 銘柄米開発 土壌作物栄養 保鮮流通技術 やませ利用	
	3	平成9年藤沢町で発生した水稲黄化萎縮病の被害解析	水田作 銘柄米開発	
	4	新しい水稲育苗培土の実用性	水田作	
	5	表層砕土同時田植機の特徴と利用法	生産工学 土壌作物栄養	
	6	野菜栽培管理ビークルの作業特性	生産工学 営農技術	
	7	りんどう施肥管理機の開発	生産工学 花き	
	8	汎用コンバインの改良とそれを用いたアマランサス収穫法	営農技術 生産工学	
	9	揺動型比重選別機の改良とそれを用いたアマランサス調製法	営農技術 生産工学	

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
	10	水稲オリジナル品種「かけはし」の発育指数(DVI)パラメータの変更	やませ利用	
園 芸 畑 作 部 門	11	訪花昆虫に影響の少ない蟻酸カルシウムの開花期散布がりんごの結実に及ぼす影響	果樹	
	12	低温によるりんごの果梗障害が果実の生育に及ぼす影響	果樹	
	13	わい化りんご園の樹冠下管理に対応した果樹園用中耕除草機の作業特性	果樹	
	14	醸造用二条大麦の春まき栽培技術	野菜畑作	
	15	りんごの有効積算温度による開花予測	花き	
	16	りんご「ポラーノホワイト」の生育不良株の発生防止対策	花き	
	17	反射資材の利用によるストックの品質向上技術 (1) 反射フィルムのマルチ利用	花き	
	18	簡易調製飼料による蚕の人工飼料育期間の拡大	蚕桑技術	
	19	岩手県における桑の新品種の栽培特性	蚕桑技術	
	20	平成9年春蚕期に異常発生したカイコノウジバエによる蚕繭被害事例	蚕桑技術	
総 合 部 門	21	水稲直播栽培を試験的に導入している農家の経営的評価	農業経営	
	22	大区画圃場整備地区における集落営農の促進方策と組織化の効果	農業経営	
	23	りんごの需要動向分析	マーケティング	
	24	きゅうりの無農薬・無化学肥料栽培の収量性	環境保全	
	25	初期溶出抑制肥効調節型肥料による水稲育苗箱全量施肥技術の特徴	土壌作物栄養 銘柄米開発 営農技術	
	26	りんご樹に対する有機物施用と果実品質	土壌作物栄養	
	27	県中南部りんご畑の土壌環境実態	土壌作物栄養	
	28	りんご病害虫の発生予察調査基準	病害虫	
	29	りんご斑点落葉病対象の防除回数削減技術	病害虫	
	30	ほうれんそう土壌病害発生圃場におけるカニ殻発酵資材の使用方法和施用効果	病害虫	

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
	31	りんご早生品種「さんさ」の鮮度保持 - 冷熱輻射方式貯蔵庫及びM A包装段ボール箱等の効果 -	保鮮流通技術	
	32	りんご「玉林」に対する初期溶出抑制肥効調節型肥料の施用効果	保鮮流通技術	
畜 産 部 門	33	黒毛和種放牧子牛のその後の産肉性	家畜育種	
	34	日本短角種の遺伝的産肉能力の推移	家畜育種	
	35	日本短角種産肉能力検定（直接法）成績	家畜育種	
	36	日本短角種産肉能力検定（間接法）成績	家畜育種	
	37	受卵牛の選定および受胎に及ぼす各種要因	家畜工学	
	38	リードカナリーグラスの栽培と利用	飼料生産	

(3) 行政施策等に反映すべき成果

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
農 産 部 門	1	比重選別機による水稲種子の精選精度向上技術	水田作	
	2	水稲原種・原々種生産	水田作	
	3	3 ha区画ほ場での高性能農業機械及び省力技術体系の実証	生産工学 水田作 土壌作物栄養 病害虫	
	4	水稲奨励品種の年次別データ比較	銘柄米開発 水田作 やませ利用	
総合 部門	5	農業者の情報需要と農業情報ネットワーク整備のポイント	農業経営	
	6	ホップのフキノメイガに対するピフェントリン水和剤の効果と残留性	環境保全	
	7	土壌汚染防止対策によるカドミウム濃度の低下実態	環境保全	
畜産 部門	8	黒毛和種産肉能力検定(間接法)成績	種山畜産	

(4) 研究開発に有効な成果

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
農 産 部 門	1	平成10年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統候補	水田作 銘柄米開発 やませ利用	
	2	水田の除草剤成分分析のための採水法	水田作	
	3	自己拡散型水稲除草剤による周縁散布法の大区画圃場への適用性	水田作	
	4	発育指数(DVI)を用いた水稲湛水直播栽培の作期策定	水田作 銘柄米開発	
	5	メッシュ気象情報を利用した水田水温の推定	水田作 銘柄米開発	
	6	平成10年度水稲新配布系統	水稲育種	
	7	平成9年度育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験結果	水稲育種 やませ利用	
	8	水稲の芒性の品種間差異とその冷水処理による影響	水稲育種	
	9	自動追尾方式によるほ場均平度の測定法	生産工学	
	10	平成10年度水稲新配布系統	銘柄米開発	
	11	平成9年度水稲系統適応性検定試験結果	銘柄米開発	
	12	エチレンジアミン四酢酸二カリウム塩を用いた水稲糯品種のアミログラム測定法	銘柄米開発	
	13	水稲診断型自動水管理装置の特徴と問題点	銘柄米開発	
園 芸 畑 作 部 門	14	ハウスピーマンの盛夏期遮光による収量・品質への影響	野菜畑作	
	15	スターチス・シヌアータの有望培養系統	花き 南部園芸	
	16	りんどうのセル苗に対するジベレリン処理効果 (1) 処理濃度と処理回数	花き	
	17	三眠蚕を利用した細繊度繭糸素材の生産	蚕桑技術	
	18	KIT人工飼料を用いた蚕の1～3齢無菌飼育法	蚕桑技術	

部門	No.	課 題 名	提案研究室	備考
	19	天蚕飼料樹「コウリュウ（蒿柳）」の挿木発根性	蚕桑技術	
総 合 部 門	20	営農リスクと多様な経営目標に対応したFAPSシステムの適用事例	農業経営	
	21	いもち病少発生地域の気象特性と発生量の評価	環境保全	
	22	チェーンポット苗移植栽培によるハウレンソウ萎ちょう病の発病軽減効果	環境保全	
	23	農業研究センター(本部)造成土壌の化学的諸性質	土壌作物栄養	
	24	平成9年度野菜・花き類病害虫に関する診断依頼傾向	病害虫	
畜 産 部 門	25	豚の肢蹄の簡易評価法	家畜育種	
	26	低ランク胚の凍結保存技術	家畜工学	
	27	ウシ胚の性別別への新たなY染色体特異的配列の利用の検討	家畜工学	
	28	飼料用とうもろこしの品種特性比較(平成9年度分)	飼料生産	
	29	山間地におけるGPSを利用した放牧牛の位置センシングの可能性	外山畜産	

2 東北農業試験研究成果

(1) 試験研究成果情報

- 1) 水稲直播栽培を試験的に導入している農家の経営上の特徴(農業経営研究室)
- 2) 水稲オリジナル品種「かけはし」を用いた東北地域における稚苗移植栽培(やませ利用研究室)
- 3) 水稲品種「ユメコガネ」の生育・栄養診断基準と栽培法(やませ利用研究室)
- 4) エチレンジアミン四酢酸二カリウム塩を用いた水稲糯品種のアミログラム測定(銘柄米開発研究室)
- 5) 自己拡散型除草剤の周縁散布法の大区画圃場への適応性(水田作研究室)
- 6) 水田除草剤有効成分の水中濃度分析のための採水法(水田作研究室)
- 7) 野菜栽培管理ビークルの作業特性(生産工学研究室)
- 8) りんどう肥培管理機の開発(生産工学研究室)
- 9) 汎用コンバイン、揺動型比重選別機を用いたアマランススの収穫・調整法(営農技術研究室)
- 10) 岩手県における大粒種ブドウ「ハニーブラック」の特性(果樹研究室)
- 11) リンゴ園の早期成園化のためのポット養成苗利用による大苗移植栽培法(果樹研究室)
- 12) ハウスきゅうりの遅出し作型における不耕起栽培法(野菜畑研究室)
- 13) オリエンタル系ユリのプレルーティングによる品質向上技術(花き研究室)
- 14) 短日処理による10月出しトルコギキョウの品質向上技術(南部園芸研究室)
- 15) アワ、ヒエ、キビの優良系統の選定(やませ利用研究室)
- 16) アマランススの収穫・調整法(営農技術研究室)
- 17) 簡易調製飼料による蚕の人工飼料育期間の拡大(蚕桑技術研究室)
- 18) 寒冷地密植桑園における桑新品種の生育特性(蚕桑技術研究室)
- 19) 平成9年春蚕期に異常発生したカイコノウジバエによる蚕繭被害(蚕桑技術研究室)
- 20) KIT人工飼料を用いた蚕の1～3齢無菌飼育法(蚕桑技術研究室)
- 21) 天蚕飼料樹「コウリュウ」の挿木発根性(蚕桑技術研究室)
- 22) ハウレンソウ土壌病害発生圃場におけるカニ殻発酵資材の使用方法和施用方法と効果(病害虫研究室)

- 2 3) イネいもち病多発地域と少発地域での気候特性と発生量の評価 (環境保全研究室)
- 2 4) M A 包装段ボール箱によるさやえんどうの鮮度保持法 (保鮮流通研究室)
- 2 5) 冷温高湿貯蔵庫およびM A 包装段ボール箱によるりんご「さんさ」の鮮度保持 (保鮮流通研究室)
- 2 6) 日本短角種の遺伝的産肉能力の推移 (家畜育種研究室)
- 2 7) 黒毛和種放牧子牛のその後の産肉性 (家畜育種研究室)
- 2 8) 脱臭装置による家畜糞尿悪臭防除技術 (飼料生産研究室)
- 2 9) 縦型強制発酵機における木材チップ脱臭装置の脱臭効果と発酵処理豚糞の成分調査 (飼料生産研究室)

(2) 東北地域新しい技術シリーズ

- 8) りんどう肥培管理機の開発 (生産工学研究室)
- 9) 汎用コンバイン、揺動型比重選別機を用いたアマランサスの収穫・調整法 (営農技術研究室)
- 1 1) リンゴ園の早期成園化のためのポット養成苗利用による大苗移植栽培法 (果樹研究室)
- 1 2) ハウスきゅうりの遅出し作型における不耕起栽培法 (野菜畑作)
- 1 3) オリエンタル系ユリのプレルーティングによる品質向上技術 (花き研究室)
- 2 2) ホウレンソウ土壌病害発生圃場におけるカニ穀発酵資材の使用方法和施用方法と効果 (病害虫研究室)
- 2 4) M A 包装段ボール箱によるさやえんどうの鮮度保持法 (保鮮流通研究室)